

The Tokyo Civet Times

東京ハクビシンタイムズ

2016年4月号 通巻88号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2016

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！tokyotanuki.jp

電線を歩くハクビシンを見てみたい と思った隊長は経験者にたずねてみた

2階以上のベランダ、窓から	56件	28.0%
偶然	52件	26.0%
視界に入った	36件	18.0%
カラスが騒いでいた	23件	11.5%
鳴き声がした	11件	5.5%
音がした	9件	4.5%

坂道だったから	7件	3.5%
イヌが気付いた	3件	1.5%
ネコが気付いた	1件	0.5%
火花で気付いた	1件	0.5%
気配がした	1件	0.5%

「電線のハクビシンになぜ気付いたのか」の回答(2016年3月まで)

私は電線を歩くハクビシンを見たことがありません。そもそも野生ハクビシンの目撃もまだ2回だけです。電線を歩くなんで、ちょっと信じられないことではありませんか(目撃例は多数あるので間違いなく事実です)。できるものなら自分自身で見たいものです。

ベランダからならすぐわかる

ですがハクビシンは夜行性です。暗い夜中に電線にハクビシンがいてもそう簡単には気付かないものです。そんな状況でどうやって見つけられればいいのでしょうか。

そこで目撃情報提供者の方々に電線を歩くハクビシンになぜ気付いたのか、その理由をたずねるようにしたのです。この質問を始めた時期はデータベースで確認してみると2009年頃からです。

理由の1位は「2階以上のベランダや窓から発見」というものでした。これなら目の前をハクビシンが通過

していくわけですから確かに発見は容易です。

「偶然」「視界に入ったから」という理由が続きますが、意外と偶発的に発見できるものなのですね。夜中でも電線上の動く物体は見つけやすいのかもしれませんが。

「カラスが騒ぐ」というのは大半が明るい時間帯です。カラスは昼行性だからです。夜中にカラスが騒ぐ例は4件だけでした。

「坂道」では、実際に歩いてみるとわかりますが、上り坂でも下り坂でも視線が普段よりも高く向きます。そのため発見しやすいようです。

「イヌ」「ネコ」の数が少ないのは、意外と頭上のものが見えていないからです。

「火花」は電線上で感電した時の火花です。さすがにこれはめったに遭遇できるものではありません。

カラスや鳴き声には要注意

こうして理由を集計してみました。が「偶然」「視界」の合計で44%に

もなり、かなり運の要素が大きいことがわかります。やはり日ごろから夜道は上を向いて歩くのが良いということでしょうか。

ベランダや窓から見つけるとしても、電線が適切な位置にないと意味がありません。私が住むアパートは残念ながら電線から離れた場所なので観察不可能です。

カラスが騒いだり、聞きなれない鳴き声がしたりというのは明らかに「異常事態」と言えますので積極的に出動すればハクビシンに遭遇できそうです。

簡単に電線上のハクビシンを発見できる方法は見つかりませんでした。が、皆さんにも参考になればと思います。

スポンサー枠

スポンサー募集中です！

全国のタヌキ、ハクビシンなどの情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>